

# 西松建設株式会社

所在地 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー

従業員数 2,762人

事業内容 総合建設業

(令和3年3月末現在)

## 健康経営に取り組むようになったきっかけ

年1回の法定健診を必ず受診しているにもかかわらず、疾病を発見することができず、治療が遅れ重症化してしまう社員が毎年数名いました。疾病の重症化は長期入院や後遺症が残ることが多く、労働力の損失・技術力の低下を招き、労働生産性の低下に至ることから、疾病の予防や早期発見・早期治療が重要であると認識しました。そして健康は個人の責任で管理するという発想を転換し、会社が社員の健康を支援し、社員と一緒に取り組んでいくことが必要だと考えました。

また、会社がどんなに良い制度を導入し、疾病を早期に発見できたとしても、社員が健診結果を正しく理解できなかつたり、治療が必要な社員の理解不足により治療が遅れると、早期治療に繋がらないことから、併せて健康意識を向上させる施策が必要だと考えました。

## 特に力を入れた取り組みとその効果

疾病の早期発見・早期治療を目的として、年2回の健康診断を実施しています。この内1回を、30歳以上の社員は人間ドック受診とし義務化しています。この人間ドック受診に対し、補助金の支給と有給休暇とは別に休暇を付与しています。また女性がん検診に対し年齢制限なく補助金を支給しています。さらに配偶者の健康にも配慮し、30歳以上の被扶養配偶者に対し、年1回の人間ドック受診を奨励し、補助金を支給しています。これらの施策により、社員の間ドック受診率は2020年度96.1%と高く、疾病の早期発見・早期治療に至った社員が2018～2020年度の3年間で16人いました。また、産業看護職を増員することで、全国の現場に勤務する社員も含め、Webを利用した保健指導体制を新たに構築しました。

kencomで開催している「みんなで歩活」にも積極的に参加しており、2020年秋には過去最多の960人が参加しました。2021年6月に実施したアンケートによると、「みんなで歩活」に過去1度でも参加したことのある社員の割合は49%でした。社員の約半数の参加経験のあるイベントであり、会社としても運動習慣の定着とコミュニケーションを生む良い企画と考えています。今後も社員に対し広く参加を呼び掛けていきます。



本社社員食堂に「ヘルシーメニュー」がスタート



組合だより掲載「みんなで歩活」インタビュー

ホームページ

<https://www.nishimatsu.co.jp/csr/n-vision/kenko2019.html>